

マタイ 4

立ち帰って 使命を果たそう

マタイ福音書2章13～23節

出エジプトとメシア

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

イスラエルは、メシアの影

I. ヘロデの幼児虐殺 13～18節

II. メシアの逃亡と帰還 19～23節

III. まとめと適用

立ち帰って

使命を果たそう



ベツレヘム近郊・ヘロディウムからの景色

0. イスラエルはメシアの影



アブラハム契約に示された、イスラエルのメシア

■創世記12:1～3

「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。

そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。**地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」**



メシアの誕生が明らかにしたこと マタイ1~2章

- ① イエスが、メシアである
- ② メシアは、真のイスラエルである
- ③ 真のイスラエルであるメシアは、すべての異邦人のメシアである

イスラエルの歩みの到着点が、メシア

律法が指し示す、メシア

- モーセを通してイスラエルと結ばれた**律法**
- イスラエルは、早々に**律法**破りを重ね、荒野を放浪
→ 誰も律法を守り通すことはできなかった
- 主は、モーセに**律法を完遂するメシア**の登場を告知
「申18:18 わたしは彼らの同胞のうちから、彼らのために**あなたのような一人の預言者**を起こして、彼の口にわたしのことばを授ける。彼はわたしが命じることすべてを彼らに告げる。」

イスラエルは、メシアの影

- アブラハム契約が約束したのは、メシア
- 律法が示すのは、メシア
- イスラエル民族の歴史そのものが、メシアの影

旧約聖書全体がメシアの影と言える

なぜ、それが預言の成就と言えるのか？

■ 預言の成就と宣言される三つのパターン

① 文字通りの成就 … 預言の直接の引用

② 部分的な成就 … 預言の部分的な引用

③ 総論的な成就 … 預言全体の要約、まとめとしての引用

➔ 事実、この通りなのだけど…

もう少しわかりやすく、シンプルに説明できないか…

本体と影の関係から考える

- 時間、光の角度、明るさで、形も濃度も変わるのが、影。
…他の影と重なることも
- 本体に近い影もあれば、かけ離れた影もある

どれも影

影は影

重要なのは、影ではなく、本体!!

福音書の最重要テーマ

- **メシア**のおぼろげな影を追いかける時代は終わった。
- イスラエルの**メシア**は、誕生された
- 本体である**メシア**と出会い、**メシア**を信じなさい。

メシアから目を離すな!!



Ⅰ. ヘロデによる幼児虐殺

マタイ2章13～18節

ヘロディウム



Ⅰ. ヘロデによる幼児虐殺

マタイ2章13～18節

ヘロディウム

ヘロデ大王とは？

- 子孫は、エドムの末裔のイドマヤ人。
 - ➔ ユダヤのハスモン王朝に支配され、ユダヤ教に改宗。
(BC140~37)
- イドマヤの領主だった父アンティパトロスは、王位争いで弱体化したハスモン王朝の将となり、実質的に支配。
- 父の後を継いだヘロデは、ローマを味方につけ、ハスモン王朝最後の王を捕らえて処刑。イスラエルの王となった。

ユダヤのハスモン王朝を滅ぼし、王となったのがヘロデ

警告 天使の御告げ マタイ2:13

彼らが帰って行くと、見よ、主の使いが夢でヨセフに現れて言った。「立って幼子とその母を連れてエジプト*へ逃げなさい。そして、私が知らせるまで、そこにいなさい。ヘロデがこの幼子を捜し出して殺そうとしています。」

*イスラエルが民族となった逃れの地

■ アレクサンダーがユダヤ人を強制移住。
70人訳を生んだアレクサンドリア。
ユダヤ人の一大コミュニティが。



脱出 エジプトへ マタイ2:14~15

そこでヨセフは立って、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトに逃れ*、ヘロデが死ぬまでそこにいた。これは、主が預言者を通して、「わたしは、エジプトからわたしの子を呼び出した*」と語られたことが成就するためであった。

*アレクサンドリアに、ユダヤの共同体が。

*「イスラエルが幼いころ、わたしは彼を愛し、エジプトからわたしの子を呼び出した。

ホセア11:1」

■イスラエルの出エジプト自体が、メシアの影



惨劇 ヘロデの命令 マタイ2:16

ヘロデは、博士たちに欺かれたことが分かると激しく怒った。そして人を遣わし、博士たちから詳しく聞いていた時期に基づいて、ベツレヘムとその周辺一帯の二歳以下の男の子*をみな殺させた。

*星の出現時から遡って年齢を推測

■ヘロデの際だった支配性と残虐性

➔自分の権力を脅かす者は、
こどもでも身内でも容赦しない



惨劇 ラケルの嘆き マタイ2:17~18

そのとき、預言者エレミヤを通して語られたことが成就した。

「ラマで声が聞こえる。むせび泣きと嘆きが。ラケル*が泣いている。その子らのゆえに。慰めを拒んでいる。子らがもういないからだ*。」

*ヨセフ、ベニヤミンの母 = イスラエルの母

*イスラエルのバビロン捕囚も、メシアの影

■ イスラエルの不信仰への裁きのすべてをメシアが身に負われ、贖われる時が来る



主が告げられていた希望

■ エレミヤ書31:15～16

「聞け。ラマで聞こえる。苦しみの嘆きと泣き声。ラケルがその子らのために泣いている。慰められることを拒んで。子らがいなくなったので、その子らのために泣いている。」

【主】はこう仰せられる。「あなたの泣く声をとどめ、目の涙をとどめよ。あなたの労苦には報いがあるからだ。——【主】の御告げ——彼らは敵の国から帰って来る。」

メシアにつながる希望

■ エレミヤ書31:21～22 【新改訳改訂第3版】

おとめイスラエルよ。帰れ。

これら、あなたの町々に帰れ。

裏切り娘よ。いつまで迷い歩くのか。

【主】は、この国に、**一つの新しい事**を創造される。

ひとりの女が**ひとりの男**を抱こう。

■ イスラエルを帰還させ、神の王国を建てられる

→ おとめマリアから生まれた、**イスラエルのメシア**



II. メシアの逃亡と帰還

マタイ2章19～23節

帰還 朗報 マタイ2:19～20

ヘロデが死ぬと、見よ、主の使いが夢で、エジプトにいるヨセフに現れて言った。

「立って幼子とその母を連れてイスラエルの地に行きなさい。幼子のいのちを狙っていた者たちは死にました*。」

*ヘロデ死去(BC4年)

■博士たちの贈り物が、逃亡生活の資金に。主の堅い守りを実感した日々が過ぎ、再び帰還する時がやってきた。



アレクサンドリア・大灯台

帰還 ガリラヤへ マタイ2:21～22

そこで、ヨセフは立って幼子とその母を連れてイスラエルの地に入った。

しかし、アルケラオ*が父ヘロデに代わってユダヤを治めていると聞いたので、そこに行くのを恐れた。さらに、夢で警告を受けたので、ガリラヤ地方に退いた。

*父ヘロデの残虐性を継ぐが、無能。

皇帝アウグストが失脚させ、その領地はローマの属州に。大祭司もローマが任命。



帰還 ナザレへ マタイ2:23

そして、ナザレ*という町に行って住んだ。
これは預言者たちを通して「彼はナザレ人
と呼ばれる*」と語られたことが成就する
ためであった。

*聖書にない。開拓された新しい村？

ベツレヘム出身者が多かった？

*メシアは、名もなき小さな町の出身。

「ナザレから、なんのよものが出ようか」

ヨハネ1:46





Ⅲ. まとめと適用

立ち返って使命を果たそう

影と本体 イスラエルとメシア

■ イスラエルの歩みそのものが、メシアの影

【影】 イスラエルは、エジプトに逃れ、成長、脱出、帰還

【本体】 メシアは、エジプトに逃れ、成長、脱出、帰還

■ イスラエルの苦難の歴史の末に、メシアは誕生された

■ メシアが、イスラエルの罪を贖い、永遠に神の民とされる。

イスラエルのメシアは誕生し、危機を脱し、帰還された

マタイ2:18 「ラケルの嘆き」 エレミヤ31章 新しい契約

■エレミヤ31:31~33

見よ、その時代が来る——【主】のことば——。そのとき、わたしはイスラエルの家およびユダの家と、新しい契約を結ぶ。その契約は、わたしが彼らの先祖の手を取って、エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破った——

【主】のことば——。

これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである——【主】のことば——。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

■ 預言書に親しんでいた当時のユダヤ人なら、ラケルの預言から（エレ31:17）、**新しい契約**（エレミヤ31:33）を思い出すだろう。

■ **新しい契約**（エレミヤ31～33

「彼らの時代の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうだ。——【主】の御告げ——わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす*。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。」

* 聖霊によって、神の法が心に刻まれる。➔**新しい契約**

メシアが結ばせた 「新しい契約」

■ マタイ26:27~28

また、杯を取り、感謝の祈りをささげた後、こう言って彼らにお与えになった。「みな、この杯から飲みなさい。

これは多くの人のために、罪の赦しのために流される、わたしの**契約の血**です。

■ 新しい契約は、エレミヤに予告され、
贖いの血を流されたメシアによって締結され、
聖霊降臨によって施行された。

新しい契約は、メシアによって締結された

私たちが生かされている「新しい契約」

- 主イエス・キリストは、自らの血を流され、私たちの罪のため、十字架で死なれ、葬られ、復活された。
- 福音を信じた者は、メシアの血による**新しい契約**を結んだ。
- **新しい契約**の締結によってもたらされたこと
 - ➔ 聖霊により、神の法が心に刻まれた（= 聖霊の内住）
 - ➔ この永遠の契約は、破棄されない（= 永遠の救い）

福音を信じた者は、新しい契約に結ばれている

「新しい契約」が促すこと

- ペンテコステに弟子たちに注いだ聖霊は、福音を信じたすべての者にも注がれた。➔新しい契約の締結
- 聖霊が与えられたのは、**信者の成長**を促すため
 - ➔自分で自分は返られない、救えない。
 - ➔聖霊が私を変え、成長させる。
- 信じて救われた者が、信じ続けて成長していくのが、**聖化**。
 - ➔救いの確信があるから、失敗を恐れず変わっていける。

新しい契約は、私たち信仰者の成長を支え、促す

★ 帰還したヨセフの決断にならおう ★

- 幼子イエスを連れ、惨劇のあった地へ帰還したヨセフ。
逃げ続ける選択肢はない。約束の地にメシアの使命はある。
- あなたが、立ち返るよう、促された人、場所、課題は？
躊躇するな。メシアが共にいて、聖霊が内住されている。
どんなにひどい失敗をしても、救いが取り去られることはない。
- 私たちの信仰が、チャレンジなしに、成長することはない。
愛されるがゆえに与えられた試練に、主を信頼して立ち返ろう。

主を信頼して立ち返ろう。成長と共に味わわれる恵みがある

てん とう
「天のお父さま。わたしの^{つみ}罪をゆるしてください

わたしは、神のみ^{かみ}子^こイエス・キリストが、

①わたしの^{つみ}罪^{あがな}を^{じゅうじか}贖^しう^しのために十字架で死に、

②墓^{はか}に^{ほうむ}葬^むられ、

③三日^{みっかめ}目に^{ふっかつ}復活^{しん}した^{しん}こと、を信じます。

せいれい えいえん しょういん わたし ところ きざ
聖霊の永遠の証印が、私の心に刻まれました。

わたし あい しゅ わたし せいちょう ねが
私を愛してくださる主が、私の成長を願っておられますから、

わたし しゅ しんらい わたし しめい お ばしょ た かけ
私は、主を信頼して、私の使命が置かれた場所に立ち返ります。

せいれい み うち わたし つか
聖霊の満たしの内に、私を遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」